

蓄熱式薪ストーブ

# Mark α series

マーク アルファ シリーズ

---

## 取扱説明書

---



**MAEDE SANGYO**

前出産業株式会社

# Mark α series

## 針葉樹を活用する薪ストーブ

---

この度はMarkαをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この説明書には、Mark α 蓄熱式薪ストーブに関する使用上の注意事項と使用方法を説明しております。

Markシリーズを正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、お読みになった後も保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

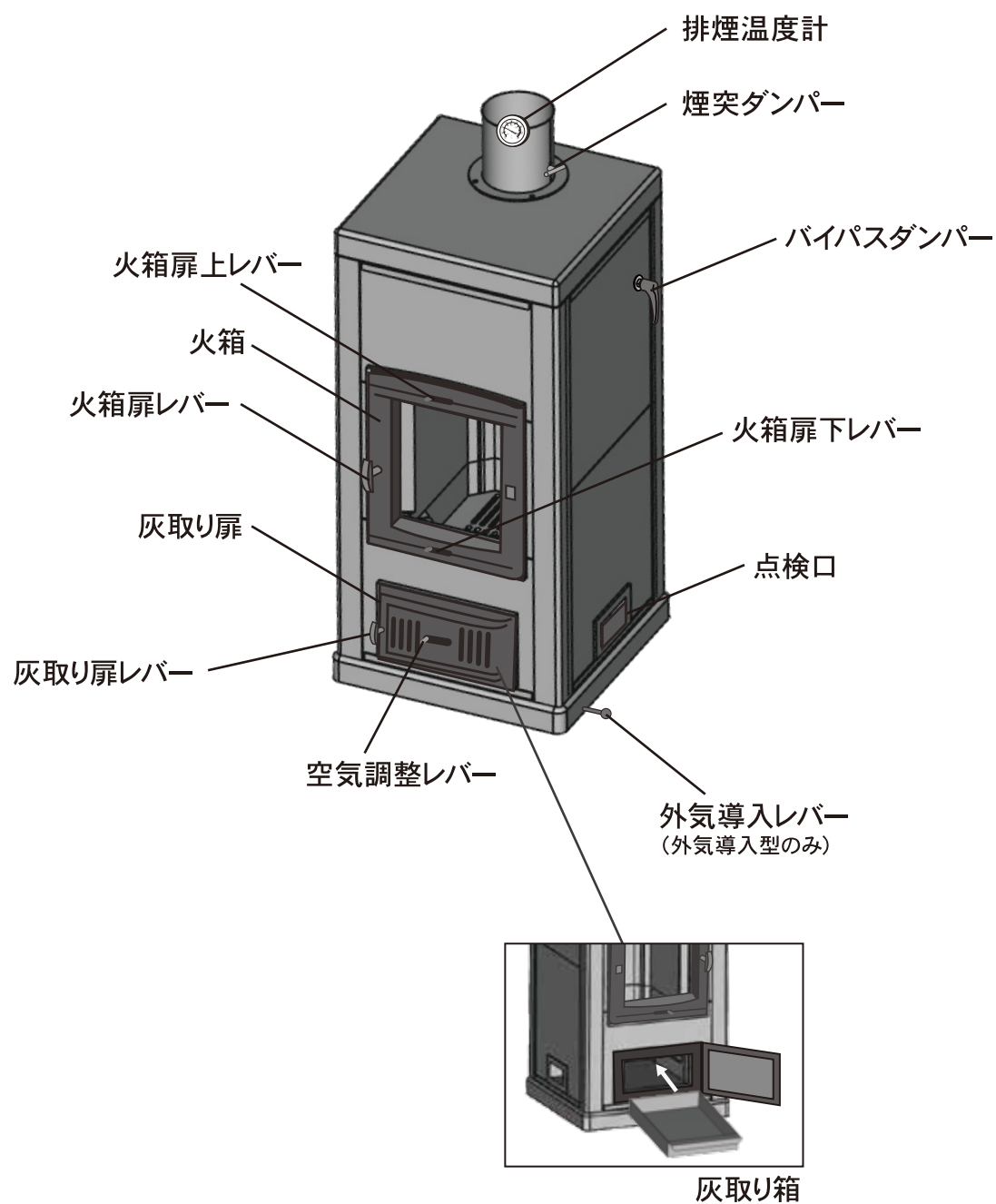


# 目次

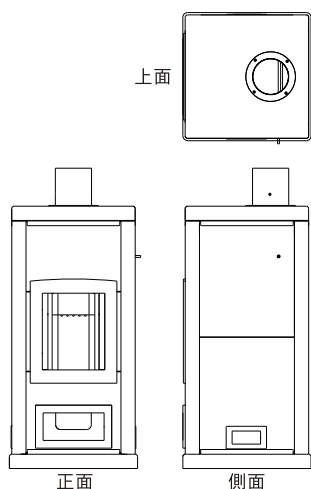
---

|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 各部名称 .....                       | 4     |
| 本体仕様、基本操作 .....                  | 5     |
| 使用上の注意 .....                     | 6     |
| 使用する薪について、<br>使用にあたり準備するもの ..... | 7     |
| 使用方法 .....                       | 8～10  |
| 外気導入型の使用方法 .....                 | 11    |
| 各部調整方法 .....                     | 12、13 |
| メンテナンスと掃除方法 .....                | 14    |
| パーツリスト .....                     | 15、16 |
| 保証とアフターサービス .....                | 17    |

# 各部名称



# 本体仕様



|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 定格出力 Kcal/h(kw)   | 4kw             |
| 暖房面積 坪(㎡)         | 住宅性能によります       |
| 燃焼システム            | 断続燃焼            |
| 燃料の種類             | 自然木の薪           |
| 燃料容量(㎡)           | 0.03㎡           |
| 最大薪長さ             | 30cm            |
| 材質(本体)            | キャストブル (不定形耐火物) |
|                   | 鋳鉄製 (耐熱ガラス)、鉄   |
| ストーブ重量(kg)        | 約400kg          |
| ストーブ寸法 W×D×H (mm) | W520×D520×H1050 |
| 煙突内径(mm)          | Φ150mm          |

仕様は予告なく変更になる場合がございます。

# 基本操作

|                                                                  | 開ける                | 閉める                                                                  |
|------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 火箱扉レバーの操作<br>(取り外しができます)                                         |                    | <br>このまま手前に引っ張ると取り外すことができます                                          |
| 煙突ダンパー                                                           |                    |                                                                      |
| バイパスダンパー                                                         |                    |                                                                      |
| 火箱扉上レバー                                                          |                    |                                                                      |
| 火箱扉下レバー                                                          |                    |                                                                      |
| 灰取り扉空気調整レバー                                                      |                    |                                                                      |
| 外気導入レバー<br>(外気導入型のみ)<br>※真上から見た状態<br>詳しくはP11 外気導入型の使用方法 をご覧ください。 | <br>約13センチ<br>【全開】 | <br>約5センチ<br>外気導入レバーは完全に閉め切らないでください。<br>外気を完全に遮断すると火が消えてしまう可能性があります。 |

# 使用上の注意

安全のために必ずお守りください

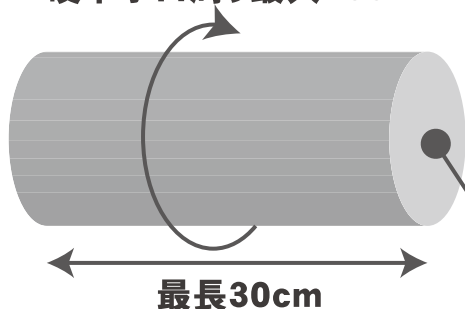
- ストーブの使用は、必ず設置業者の指導を受けてから行ってください。
- 日々のご使用の前に、異常がないか点検してください。
- 設置後の慣らし運転では水蒸気の発生と鋳物製品の塗装が焼ける臭いが生じます。必ず室内の換気を行いながら実施してください。
- 正面ガラス扉および煙突の付け根のダンパー部分は大変熱くなります。扉や空気調整レバー、ダンパーの開閉は必ず耐火手袋を着用して行ってください。
- 小さなお子さまが手を触れないよう十分お気をつけください。小さなお子さまのいるご家庭では柵等を設置してください。
- 扉以外の部分も熱を持ちます。ヤケドをする可能性もありますので、十分にご注意ください。
- 燃焼中は扉を開けないでください。



火箱がまだ熱い状態の時に、絶対に、薪を追加して燃やさないでください。高温時に薪を投入すると急激な炭化ガスの発生によりガス爆発の危険があります。

## 使用する薪について

軟木小口周り最大30cm  
硬木小口周り最大20cm



① 水分含有率20%以下に乾燥された自然薪をご使用ください。  
薪の太さは、軟木は小口周り最大で30cm、硬木は小口周り最大で20cm、薪の長さは最長30cmの薪をご使用ください。

② 焚き付け用の細い薪



自然薪以外は燃やさないでください。有害物質が発生し、健康に害を及ぼす場合があります。

## 使用にあたり準備するもの

### ● ファイヤーツール

薪ストーブを使うのに便利なほうき、灰かき棒、ちりとり等のツールセットです。

### ● ストーブグローブ

薪をくべる時やハンドルなどの操作時に熱から手を保護してくれます。  
熱に強い革素材のものが適しています。

### ● 灰取りバケツ

密閉できる金属製の容器を必ず使用します。

### ● 薪

使用する薪については上記をご参照ください。

### ● 点火剤

段ボールの切れ端や新聞紙、ストーブ用着火剤等で点火します。

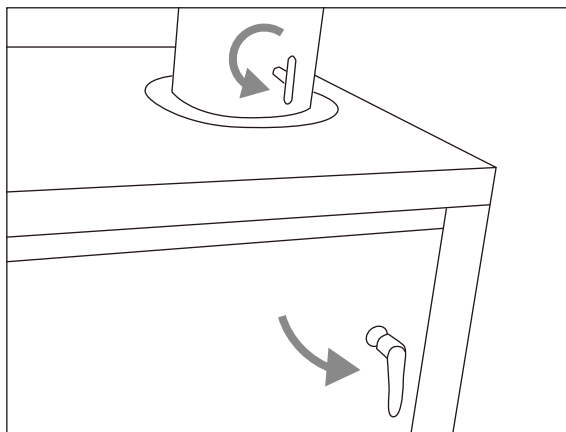


灯油やガソリンなどのオイルが含まれる点火剤は絶対に使用しないでください。

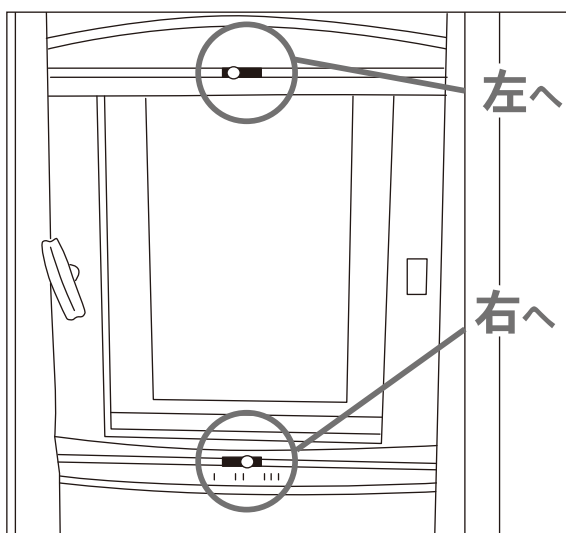
### ● 消火器

# 使用方法

## 1. 点火前にすること

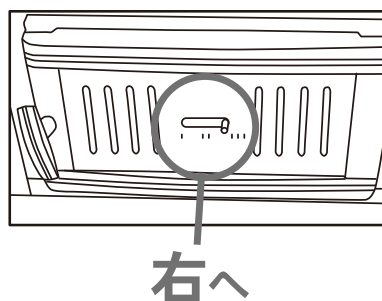


煙突ダンパーとバイパスダンパーを全開にします。



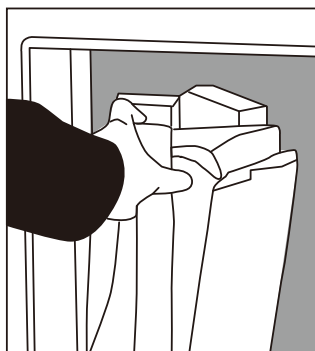
薪に点火する際、灰取り扉空気調整レバーを**右**(III)、火箱の上扉は**左**(III)、下扉は**右**(III)にします。開けて一次空気を大量に取り入れます。

**ツマミの方向に注意**



灰取り扉空気調整レバー

## 2. 薪を置く



火箱に最大重量分の薪を最大高まで積み上げます。垂直に詰める場合は、薪の長さは最大30cmです。これより短い薪は、水平に積むとよいでしょう。

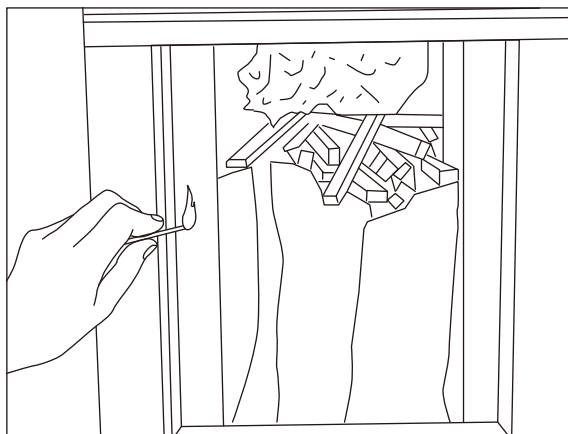


### 3. 焚き付けを置く



薪の真上に、焚き付けを置きます。量的には、薪全体量の約5～10%程度の容量が適しています。焚き付けを薪の間に落とさないよう、気を付けて薪の上にのせてください。焚き付けの間などに、段ボールの切れ端や新聞紙、ストーブ用着火剤を入れます。

### 4. 点火する

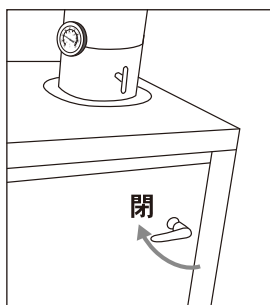


キャンドルに火を灯すように火をつけて、ドアをすぐに閉めます。

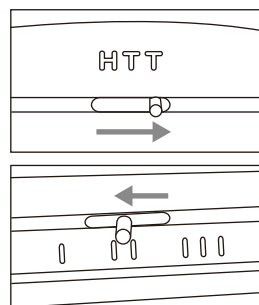


灯油やガソリンなどのオイルが含まれる着火剤は、絶対に使用しないでください。火箱が規定以上の高温になり、本体への深刻なダメージにつながるおそれがあります。

### 5.

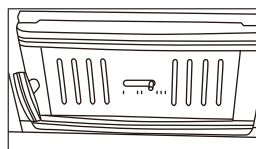


バイパスダンパー



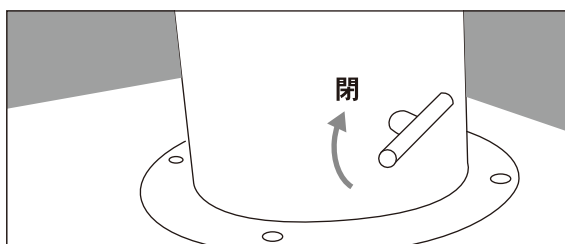
火箱上下扉レバー

排煙温度計が150℃に達したら、バイパスダンパーを**閉じ**、灰取り扉空気調整レバーは「Ⅲ(開く)」のまま、火箱の上・下扉レバーは「Ⅱ(中間)」にします。



灰取り扉空気調整レバー

### 6.

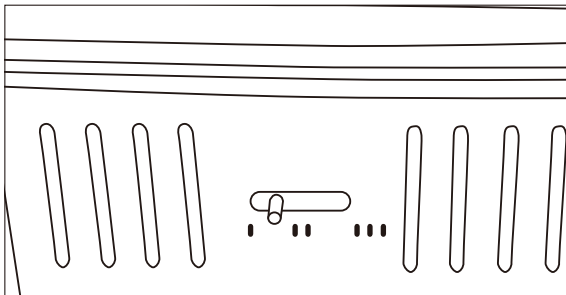


続いて煙突ダンパーも、**2分の1回転**閉めます。

#### 〈注意〉

しばらくして排煙温度計が80℃以下を示した場合は、規定より早く閉めたことが考えられます。数分間ほど煙突ダンパーとバイパスダンパーを開き温度を上げてください。※薪燃焼中の排煙温度は80℃以上を維持するようにしてください。

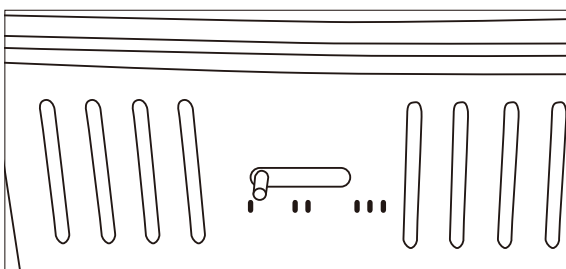
# 7.



炎が小さくなり熾火燃焼に替わったら、火箱扉上下レバーは「閉じる」、灰取り扉空気調整レバーは「I」と「II」の中間にします。

薪は炭化すると真っ赤になり、さらに15分程、青みがかった小さい炎をだしながら燃えます。この熾火燃焼で必要となる燃焼空気は、ごく少量(10パーセント以下)でも高温で連続燃焼します。

# 8.

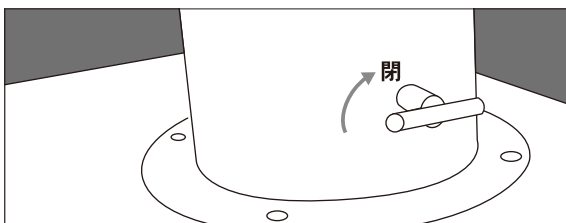


炭が、目視できる赤黒い固まりの状態になったら、燃焼過程の最後ですので、灰取り扉空気調整レバーを「I」の位置にして、完全に閉めてください。これで1回の火入れ工程が完了しました。

**次回の火入れまでは所定の時間を空けてください。**

※火入れ回数は下記の火入れタイムチャートを参考にしてください。

# 9.



最後に、赤黒い炎が**完全に消えた直後に**、煙突ダンパーを閉めてください。

**MarKaを蓄熱させるには、以下の周期で火入れを行ってください**

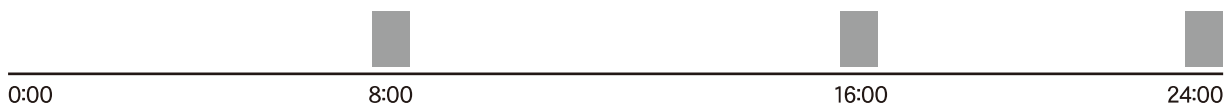
**24時間周期での火入れタイムチャート**

■ = 火入れ

①



②

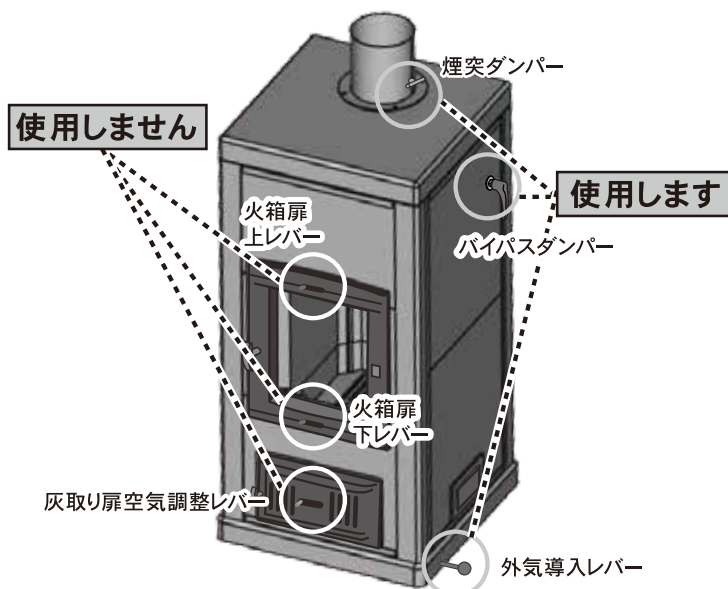


# 外気導入型の使用法

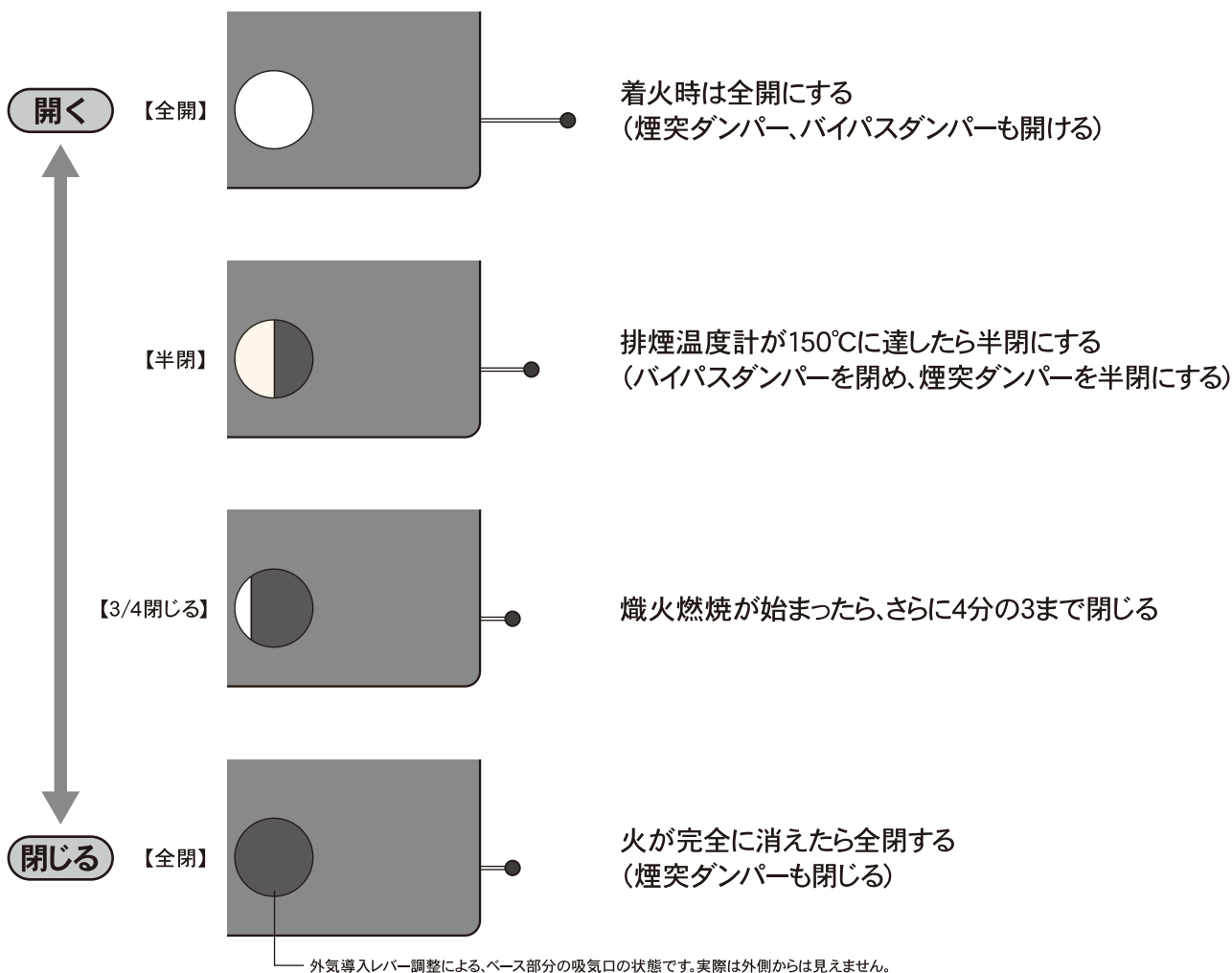
## ●外気導入型について

外気導入型は、高気密・高断熱の住宅に対応するモデルです。

- ①火箱扉の上下レバー、灰取り扉空気調整レバーは使用しません。
- ②煙突ダンパー、バイパスダンパーは通常と同じようにお使いください。
- ③外気導入レバーで外気の導入量を調整します。

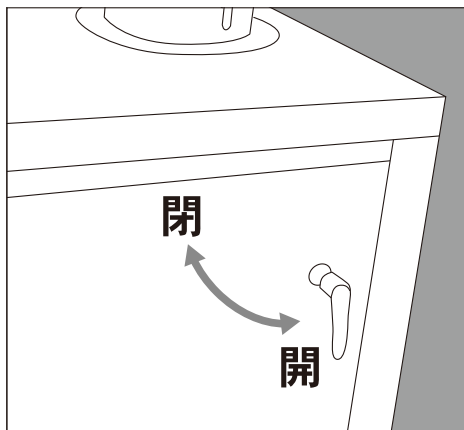


## 【外気導入レバーの操作方法】※真上から見た状態



# 各部調整方法

## ●バイパスダンパー



### 開ける時

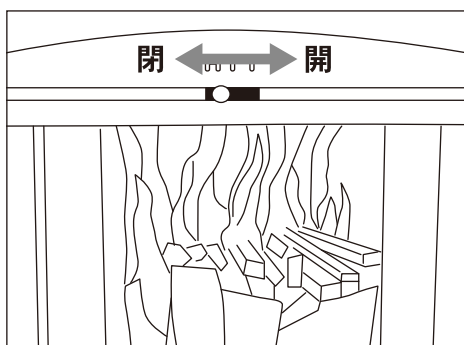
点火時以外で開けるのは、「ストーブが冷え切っている時」、屋外が「無風状態の時」いずれも十分なドラフトが得られない場合のみ開けます。

バイパスダンパーを閉めた後、急激に排煙温度が下がった場合(80℃以下)は再度バイパスダンパーを開け排煙温度の上昇に努めてください。

### 閉める時

屋外が強風で十二分なドラフトが得られる状況下ではバイパスダンパーは閉めたまま、また、火箱内が十分に熱い時はバイパスダンパーは閉めたままにしておいてください。

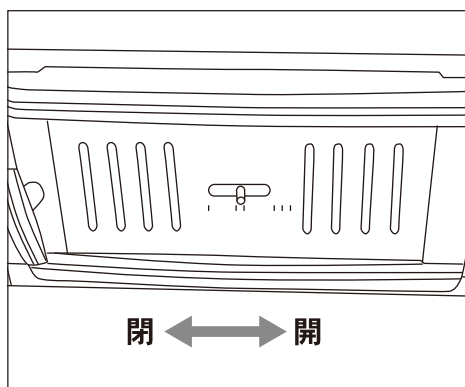
## ●火箱扉上下レバー



火箱扉上下レバーは、薪の燃烧空気を補うだけでなく、ガラス面の煤の付着を防止する目的もあります。

しかし、灰取り扉空気調整口から十分に空気が入っているのが炎の状態を確認できる場合は、開けなくても差し障りありません。

## ●灰取り扉空気調整レバー

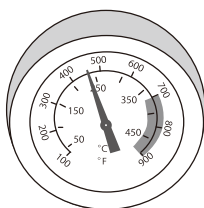


### 点火時

薪に点火する際、灰取り扉空気調整レバーを少し開けて、一次空気を大量に取り入れますが、屋外が無風状態でドラフトが起きない場合以外は、灰取り扉空気調整レバーを聞ける必要はありません。

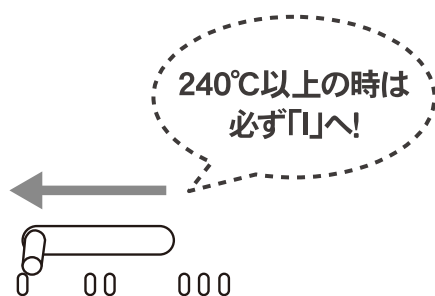
### 点火後

排煙温度が150℃以上になる場合は、「I」または「I」と「II」の間に調整します。



### 240℃以上の場合

燃焼ピーク時には排煙温度が240℃まで上昇することがあります。これ以上の排煙温度になる場合は吸気量が多すぎて煙突からの熱損失になります。灰取り扉の空気調整レバーを「I」の位置に調整してください。



排煙温度が240℃以上の時は、必ず上記方法で吸気量の調節をしてください。煙突が傷んでしまう恐れがあります。

# メンテナンスと掃除方法

Markαを末永くお使いいただくために  
下記メンテナンスは必ず行ってください

●灰取り箱の灰は、定期的に取り除いてください。

●火箱扉ガラス面の内側は、必要に応じ、くしゃくしゃにした新聞紙などで拭いてください。  
一度ガラス面が曇ってしまうと、拭き取りしない限り、綺麗になりません。

●ガラス面にこびりついた汚れは、濡らしたスポンジに灰をつけてぬぐったあと、乾いた新聞紙で拭いてください。

火箱扉のガラス面や火箱内部が煤でひどく汚れているのは、燃やし方と薪の乾燥具合に改良の余地があるということを意味します。取扱説明書のとおり適切な薪を適切に燃やせば、煤でひどく汚れることはありません。

●火箱の床を小さな刷毛等で下の灰取り箱に掃き落とし、大量の灰を残したままにしないでください。十分に乾燥させた薪を適切に燃焼させた場合灰は水分を含まず軽いため、ほとんどは、自然に下の灰取り箱に落ちます。落ち残った灰を下の灰取り箱に掃き落としてください。

灰のほかに、大きな炭が燃え残っているようであれば、取扱説明書に従って燃焼させていない、ということになります。炭が燃え残るということは、火箱内の温度が低く完全燃焼しておらず、火箱内部の煤が燃えきらずに汚れた状態になっているかもしれません。これでは、火箱部材の消耗につながります。こういった場合は、灰を完全に取り除いた後、炭だけを(薪は足さないでください)なくなるまで再度燃焼させることをお勧めします。

●鋳物製のハードウェア類(火箱扉や灰取り扉、掃除口など)の汚れは、食用油と乾いた布で拭き取ってください。ヒーター本体の表面は、通常のご使用では特にメンテナンスの必要はありませんが、泥などの汚れがついたときは、中性洗剤と乾いた布で拭き取ってください。

●煙突掃除は毎年行ってください。詳しくは、販売店にご相談下さい。

●ヒーターの煙路は、煤が高温で燃え尽きるため、まめなメンテナンスは必要ありませんが、時々、本体の両側面の下についている点検口を開けて、舞い上がった灰などをブラシで取り出してください。

●火箱内部は、傷をつけるとひび割れにつながりますので、金ブラシなど硬いもので擦ったり、たたいたりしないで下さい。火箱内部は、布などで拭く必要はありません。

暖房シーズンが終わったら、メンテナンスと掃除を行い、火箱に湿度をためないよう、煙突ダンパーと灰取り扉、火箱扉のつまみを開け、風通しのよい状態を保つようにしてください。

# パーツリスト

P1 ベース  
K1 四隅支柱  
P2 セカンドベース  
K2 ベースフレーム側板  
P3 カバー側面下  
P4 カバー側面上  
P5 カバー後下  
P6 カバー後上  
P7 カバー前面下  
P8 カバー中左右  
P9 開口確保ブロック1  
P10 カバー前面上  
P11 開口確保ブロック2  
P12 煙道側面 右  
P13 煙道側面 左  
K3 網板  
P14 煙道後面  
P15 燃焼部左右下  
P16 燃焼部前後下  
K4 スノコ  
P17 燃焼部後中  
P18 燃焼部左上  
P19 燃焼部右上  
P20 燃焼部後上  
P21 燃焼部前 煙道  
P22 燃焼部天板上  
P23 燃焼部天板上 煙道  
P24 燃焼部前上  
K5 1次ダンパー支持台  
K6 1次ダンパー  
P25 天板  
K7 ダンパーグリップ  
K8 天板ガイド

K9 取手 ELH63  
K10 灰取り箱  
K11 バネ2次ダンパー  
K12 煙突排出口  
K13 バタフライダンパー  
K14 軸 バタフライダンパー  
B1 天板裏耐火板  
K15 上部押さえ板  
K16 M8ナット  
K17 ワッシャ M8  
K18 目クラ上部押さえ板  
P26 ベース上煙道補助  
B2 耐火板 側板  
B3 耐火板 後板  
B4 耐火板 燃焼部上煙道  
E1 フロントドア  
E2 アッシュドア  
E3 クリーニングドア

## 外気導入型用パーツ

P27 外気導入ベース  
K18 外気導入灰取り箱  
K19 外気導入シャッター枠  
K20 外気導入シャッター  
K21 外気導入用ダンパーグリップ  
P28 外気導入セカンドベース  
K22 外気導入 にぎり玉  
P29 外気導入ベース上煙道補助

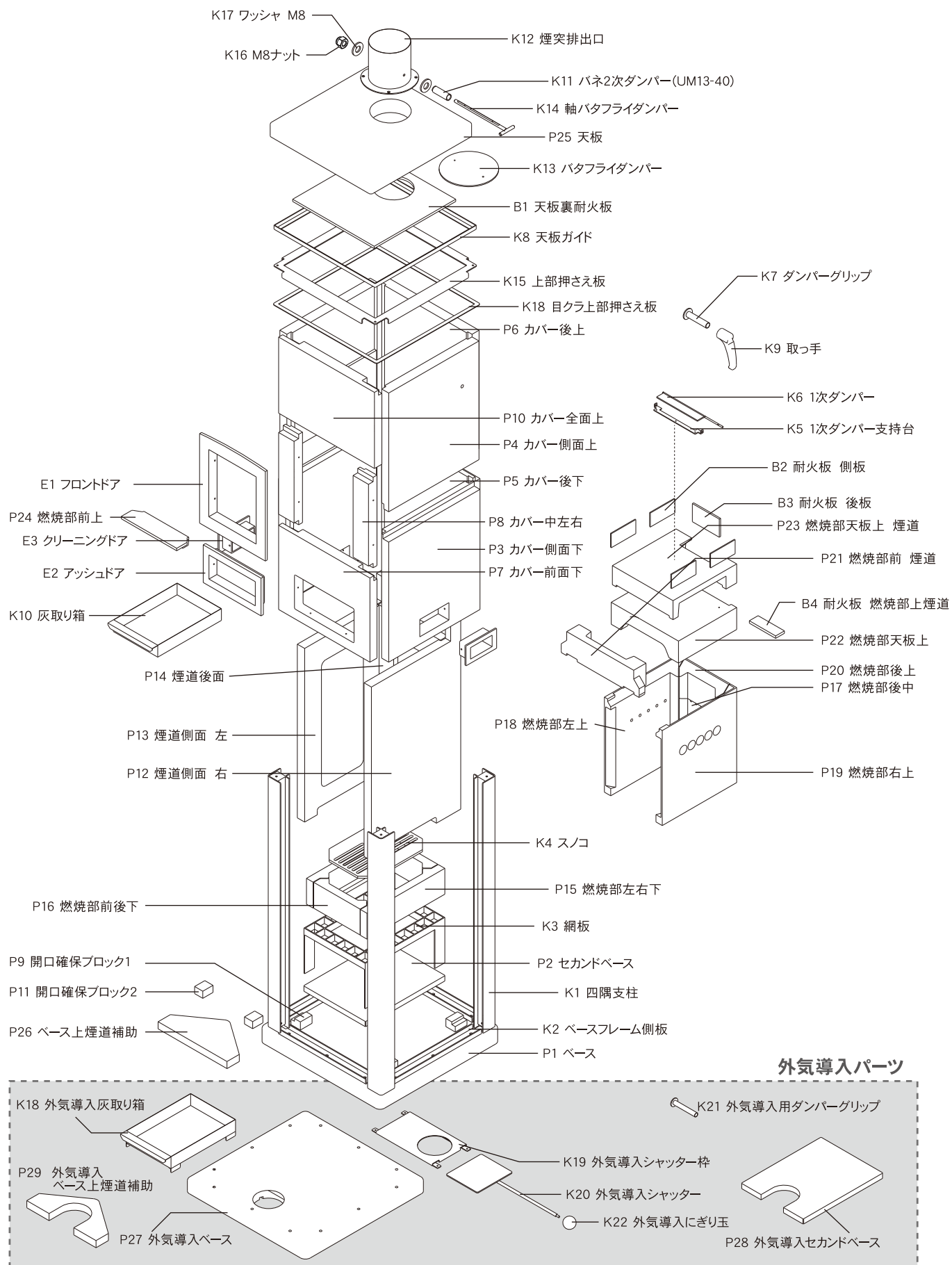
本体パーツ : P1~P29

金属パーツ : K1~K22

鋳物パーツ : E1~E3

耐火板 : B1~B4

# パーツリスト





# 保証とアフターサービス

## 保証について

保証書の「お引渡し日・販売店名」等に記入漏れがないかご確認ください。  
記入漏れがある場合、保証いたしかねますのでご注意ください。  
(記入漏れのある場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。)  
保証書は内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。  
保証期間中の修理に際しては必ず保証書をご提示ください。

## 保証期間

保証期間はお引渡し日から1年間です。この期間中に本書に従った正常な使用状況のもとで故障が発生した場合、消耗部品を除き保証書の規定に従って無料修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修正すれば使用できる場合に限り、ご希望により有料にて修理いたします。お買い求めの販売店か弊社までお問合せください。

## 修理料金の内容

修理料金は部品代などで構成されています。

- ・技術料/診断、故障箇所の修理、部品交換、調整、完了点検などの作業にかかる費用です。
- ・部品代/修理に使用した部品および補助材料費用です。
- ・出張料/製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 補修用性能部品の保有期限

補修用性能部品（性能を維持するために必要な部品）の保有期限は製造打ち切り後10年です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は…

ご不明な点ならびに故障・修理、あるいは部品のお取り替えに関するご相談は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

より一層のご理解をいただくために、本書とあわせて下記のサイトもご利用ください



MarK 専用ホームページ 製品情報を詳しくご覧いただけます  
<http://www.mark-series.jp>

[illegible]

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



**MAEDE SANGYO**

前出産業株式会社

〒523-0015 滋賀県近江八幡市上田町1288-18番地

〈TEL〉 0748-37-1647 〈FAX〉 0748-37-1699

〈E-mail〉 maede@mark-series.jp

〈HP〉 <http://www.mark-series.jp>